

10. コナラ (小川のコナラ)



直径 132 cm



樹高 30 m

【解説】

現地は、前述のミズナラと同じ「小川ブナ植物群落保護林」内にある。

コナラはクヌギと並び里山を代表する樹種であり、シイタケ原木や薪炭材として利用されていたので、これほどの巨木が見つかるのは珍しい。これは古くから当地が学術参考林（保護林）として取り扱ってきたことが、これらの木々が保残された所以だろう。

この保護林には、ブナ、イヌブナが混生するのと同様にコナラ、ミズナラが混在して生育している。

【所在地】

北茨城市関本町小川字和尚山国有林1001い2林小班内

北緯36°56′17″ 東経140°35′15″ 付近